

WEEKLY REPORT

一宮中央
Rotary



IMAGINE
ROTARY

2022～2023年度 RIテーマ

イマジン ローターリー

地区活動方針「未来を描こう、笑顔でつながろう」

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

●創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
●例会日時 毎週水曜日（PM 6時～7時） TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
●例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
◇会長 秋田敬治 ◇会長エレクト 内田泰潤徳 ◇副会長 山田秀代 ◇幹事 宮田浩二 ◇クラブ会報委員長 浅井清史

令和4年11月16日（水）

第1483回（当年度第17回）例会

本日のプログラム

クラブアッセンブリー
地区大会報告

第1482回例会（当年度第16回の記録）

- 令和4年11月9日（水）18：00～19：00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 秋田会長
- 国歌「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」
- ビジター 地区資金推進委員会 委員
安江寛二様（名古屋空港RC）
- 例会体験 中井義也様
- 会長挨拶

秋田 敬治



皆さんこんばんは、本日も例会にご出席いただきありがとうございます。

さて11月はロータリー財団月間です。9月10月の理事会で我がクラブの財団への年次基金及びポリオプラス基金の寄付につきご承認の上、皆様方に今年度の寄付をお願いしご対応いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

又3年前の寄付額をベースに地区補助金として、本年5月にはカンボジア・シェムリアップ州の学校教育環境の向上プロジェクトに2127ドルが決定しております。本日安江様には財団への寄付と補助金との関連の変更点につき解りやすくご説明をお願いしております。

また本日も中井様に例会体験にご参加いただいた訳ですが、今年度は年度末までに4名の会員増強を目指しております。「会員増強はクラブの基盤強化につながる」中長期のクラブ存続に係る重要な課題であります。男性女性問わず40歳から50歳代を中心に会員を募り、例会体験等でロータリークラブとの出会いの場を提供して、会員を知る・ロータリーを知ることから始め、ロータリークラブの会員とその活動に魅力を感じて入会の意

欲を持ってもらえるようにフォローし、会員増強につなげていきたいと考えております。中井様本日はご参加いただきありがとうございました。

最後に今週末12日13日・土日午後は地区大会が開催されます。ご登録の皆様には本日ご案内の資料をお渡ししております。内容ご確認の上会場・時刻等お間違えの無いようよろしくお願い致します。

以上で開会挨拶とさせていただきます。

□ロータリー財団認証状授与



ベネファクター 秋田 敬治君

□ニコボックス（ABC順）

☆地区財団資金推進委員 安江寛二様（名古屋空港RC）

本日は卓話のお時間を頂きありがとうございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

☆秋田敬治君 ロータリー財団 地区資金推進委員会 安江様本日は卓話ご苦勞様です。例会体験の中井様、ようこそいらっしゃいました。今週末は地区大会です。13日はセントレアでお会いしましょう！

☆伴 卓樹様 例会に出席できたので。

☆井上雅樹様 例会に出席できたので。

☆宮田浩二君 ロータリー財団を活用しよう、卓話勉強させていただきます。地区資金推進委員 安江寛二様よろしくお願いいたします。

☆松前憲典君 創立32周年記念例会が八勝館で盛大に開催されました。ありがとうございました。本日は財団月間の卓話として「ロータリー財団を活用しよう」と題して、安江地区委員の卓話、よろしくお願い致します。

- ☆森俊一郎君 安江様、ようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願いいたします。
- ☆大塚省治君 中井さん、本日の例会体験楽しんで下さい。
- ☆尾関一之君 地区資金推進委員会 安江様、本日はようこそおいでいただきました。本日の卓話宜しくよろしくお願いいたします。
- ☆佐藤祐造君 コロナワクチン第5回目、近くの開業医で注射しました。第八波予防のため皆様も機会があれば予防接種しましょう。
- ☆鵜飼俊光君 先日の例会はごちそう様でした。
- ☆山田 満君 例会に出席できたので。

地区出席報告



「ロータリー女性の集い パート1」
2022. 10. 13 (木) 於 名鉄グランドホテル
副会長 山田 秀代君

10月13日「ロータリー女性の集いパート1」に出席させて頂きました。

地区として～女性会員の増強をしましょう～ということで女性会員が活躍できる場を作って頂きました。

会場には120名位の参加で、女性会員、男性会員が約同数の出席でした。ロータリーの女性の集いに半数の男性会員がいたという事は、各クラブから女性会員が出席する事で各クラブの会長、幹事どちらかがお供で付いてきてみえました。わが一宮中央ロータリークラブは2760地区で最初に女性ロータリアンを入会させたクラブですが、私一人の出席で寂しい思いをして来ました。もう少し会員の皆様方の思いやる心が欲しかったです。多い時には6名の女性会員がいました。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。これで報告を終わります。

出席 報告	会 員 総 数	38名	
	出席会員数	28名	73. 68%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回 (10/12)	100%

財団月間卓話



地区資金推進委員会

委員 安江 寛二様 (名古屋空港RC)

本日は、ロータリー財団月間にあたり、一宮中央ロータリーの皆様にロータリー財団へのご理解を深めていただけるよう卓話をさせていただきたいと思いますが、何分私もキャリアが浅く、自クラブ以外での卓話は今回が初めてで、非常に緊張しております。この場で卓話させて頂くのも自身の勉強として取り組ませて頂いておりますので、拙い説明になるかもしれませんが、一生懸命お話させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

ロータリー財団とは、1917年6月18日、ヨーロッパで戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、当時の会長アーチ・クランプが「世界で良いことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と、自身の構想を発表しました。

その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年、「ロータリー財団」と改称され、今日に続いています。

国際ロータリーが人間の「カラダ」としたら、ロータリー財団は「血液」です。「血液」が無ければ、「カラダ」は動きません。国際ロータリーは皆さまの会費で運営をしていますが、ロータリー財団は、ロータリアン皆さまからの寄付で運営・活動をしています。

昨年度、2021-22年度は貴クラブより年次基金おひとり152. 64 \$、ポリオプラスおひとり30 \$、恒久基金1000 \$の寄付を頂きました。沢山のご寄付本当にありがとうございました。

本年度、2022-23年度の2760地区ロータリー財団寄付の目標は、年次基金おひとり150 \$以上、ポリオプラスおひとり30 \$以上でございます。

恒久基金は、クラブでベネファクター1名または、1000 \$以上でございます。2021-22年度は、恒久基金に寄付されたクラブは、一宮中央クラブ様を含め42クラブありました。また、大口寄付者は9名、ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、現在22名のメンバーがいっぱいいます。このような実績から、昨年度は地区目標額を上回りました。ご協力本当にありがとうございました。

「大口寄付」とは、一括10, 000ドル以上を寄付される方で、寄付分類は問いません。「ポール・ハリス・ソサエティ」とは、毎年1, 000ドル以上を、年次基金またはポリオプラス基金に寄付することを約束された方を認証するためのプログラムです。

ロータリー日本財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。法人からの寄付も同様です。個人向けの領収書は半年ごとにクラブへ発送されていますので、受け取られましたらしっかり保管してください。

皆さんから集めた寄付が、どのように使われているのか？もしかしたら、疑問を持たれる方もいらっしゃるかもしれません。その内訳を表したグラフがごさいます。寄付総額のうち92%が、プログラム補助金とプログラム運営費に使われております。残りの8%で寄付推進と一般管理運営費を賄っております。例えば、日本赤十字社やユニセフでは支援事業に使われている割合は80%以下だと聞いております。

チャリティーナビゲーターという世界の奉仕団体を調査している組織がごさいますが、ロータリー財団は、14年以上、最高位の4つ星を獲得しており、このように第三者機関にも認められております。

このようなロータリー財団の情報は、財団室NEWSに掲載されております。地区のホームページからもダウンロードできますので、是非お読み頂ければと思います。

それでは、地区財団委員会のプログラムを順に説明致します。まずはポリオプラスです。

ポリオ根絶は、ロータリーの最優先項目で、世界の子どもたちと我々ロータリアンとの約束でございす。特に感染しやすいのは5歳未満の子どもで、治療法はないですが、ワクチンで予防が可能です。日本でも、子供が産まれますと、保健所から各種予防接種の案内が届きます。必ずその中にポリオのご案内もございす。そして全員が接種しております。日本では1980年を最後に発症はございませんが、現在地球上でどれぐらいポリオが発症しているかをお話しします。

2019年は176例、2020年は140例、2021年は6例と根絶まであと一歩というところまで来ましたが、残念ながら今年度、現在までに27例と増えてしまっております。6月には、ロンドンの下水からポリオウイルスが検出され、ロンドンに居住する1歳から9歳までのすべての小児を対象に、ポリオオワクチンの緊急追加接種を実施することが発表されました。また、ニューヨークでも下水からポリオウイルスが検出され、7月には、アメリカでは約10年ぶりにポリオの感染者1名が確認されました。とにかく、世界中で一人でも発症者がいたら、毎年4億人の新生児にワクチンを打ち続けなければなりません。（パキスタンで感染者が増えている理由ですが、不十分なインフラと文化的障壁、辺縁の地域までなかなかワクチンが届いていない、パキスタンのタリバンがワクチンを推奨していない、個別訪問するポリオ接種チームが政府のスパイと思われるそうです。そのため、医療従事者の身にも危険が及ぶ可能性があり、WHOは、医療従事者の身の安全を最重要としているので、ワクチン接種がうまく進んでいないようです。）

2021年に日本で産まれた子供は約81万人、この全てのお子様に関わり、一回当たり5000円を4回で2万円、合計約160億円を全額を公費で賄っております。何としても我々ロータリアンは、ポリオ根絶に向けて戦っていかねればなりません。

また、10月24日に世界ポリオデーとして、全世界でポリオ撲滅のイベントを行いました。2760地区では10月25日に南山カントリークラブにおきまして、チャリティーゴルフコンペを行いました。

また、2023年4月15日（土）、16日（日）にはワールドフードふれ愛フェスタ（WFF）が行われます。

ここで集めたお金で、ポリオワクチン保冷庫付き移動図書館を、パキスタンに寄付をしています。どうぞ当日はご参加頂きますよう、お願い申し上げます。

続きまして、教育への支援という事で、平和フェローシップとグローバル補助金奨学生がごさいます。

平和フェローですが、世界8つの大学と提携している「ロータリー平和センター」で、世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。世界中の多くの応募者の中から、毎年、最高130名が平和構築のために勉強しています。修士号取得プログラムでは3年以上、専門能力開発修了証プログラムでは5年以上の実務経験が必要です。当地区からは、しばらく奨学生を送り出していないので、候補者がいましたら推薦をお願いします。

続きまして、補助金の活用のお願いです。

補助金には、地区補助金とグローバル補助金の2種類がごさいます。今年度地区補助金は84クラブ中56クラブからご申請をいただきました。一宮中央クラブ様にもカンボジア シェムリアップでのeラーニングの環境を整える事業を申請頂いております。ありがとうございます。

申請時には「地区とクラブの覚書」（MOU）を提出していただきます。授与と受託の条件には、事業に際して「やってはいけないこと」が記載されています。どちらも、しっかりと読みいただき、遵守していただかなければなりません。

続いてシェアシステムの説明です。

そしてこれまでとルールを変更し、クラブの拠出金は必要ではなくなりました。申請可能額のみでの事業が可能となります。もちろんクラブ拠出金を上乗せいただければ、さらにもっと大きな事業が可能です。地区補助金を積極的に申請して奉仕事業を行って頂きますようお願い申し上げます。

継続事業についてですが、先程申し上げました、授与と受託の条件の制約事項に、特定の受益者に過度の支援をしてはいけないと書いてありますが、今年度は委員会で議論を重ねた結果、内容が昨年と同じだけでも、受益者が違えばOK。また、受益者が同じでも内容が違えばOKとしております。申請可能額を設けさせて頂いた事で限られた条件の中、よりインパクトのある奉仕事業を構築して頂きたいという想いから、ルール改正させて頂きました。

続いて、寄贈事業です。

地区補助金というのは、ロータリアンが汗を流して地域に貢献するという事を大きな目的として作られたシステムですので、ただ物を差し上げるだけでは地区補助金として認められないという風に考えています。

ロータリアンが積極的に参加する事が求められますので、事業目的達成のために必要な、資材・機材の整備に伴う事業はOKです。例えば、デジタル格差是正の為に、ITの出前事業をやります。その事業に必要なタブレットを10個購入して授業を行います。そしてそのタブレットをそのまま学校に差し上げる。これはOKです。実際にリアルに何か物を運んだり、工事を手伝うことはもちろんですが、地域のニーズを調査したり、準備をするプロセスも含めています。

今年度の地区補助金事業を、是非コロナに負けずに実行してください。また、今年度の地区補助金事業を、地区公共イメージ向上委員会に伝えるとともに、

HPやSNSで広報して頂ければと思います。

次にグローバル補助金事業です。

グローバル補助金事業は、長期的で持続可能な影響をもたらす事業、予算30,000\$以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組む必要があります。この「持続性をいかに担保するか」ということが重要なポイントです。

加えて「ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む」プロジェクトでなければなりません。皆様すでにご存知かと思いますが、2021年7月より重点分野に『環境』が加わり“7分野”となりました。これまで日本は、主に「援助国」側でしたが、『環境』については、日本も「実施国」となり得る分野だと思います。グローバル補助金はいずれ海外での実施、というふうに思いがちですが、海外の地区、クラブとのマッチングで、実施は日本国内という形ももちろん可能でございますので、国内実施も十分視野に入れてご検討いただければと思います。

今年度から、当地区のグローバル補助金（DDF）の配分ルールも変更となっております。変更前は、クラブは1円も出さずに申請することができましたが、今年度からは、クラブ拠出金が必要となります。その理由は、是非クラブ全体の合意を得て行なって頂きたいという事です。そのため理事会に諮る必要が出て参ります。クラブからの拠出が無いと、例えば担当の方一人だけが事業に関わるということが起きてしまいます。そうではなく、クラブ全体で、またそれを地区がバックアップする形でグローバル補助金を活用頂きたいと思えます。例えば、クラブから3000ドル拠出頂きますと、その8倍の24000ドルがDDFから、そしてWFからそのDDFの金額の80%の19200ドルが上乗せされます。つまり、クラブで3000ドルをご用意頂ければ、合計46200ドルの大きな事業を実行頂けることとなります。グローバル補助金はいつでも申請ができますので、是非地区にもご相談頂き、チャレンジ頂きたく存じます。

グローバル補助金には、職業研修チームという活動もございます。

Vocational Training Team の略でV T Tと呼ばれます。専門家チームを海外に派遣して研修を行う。または、専門家チームを国内に招聘して研修を行うプログラムを行っております。

続きまして、グローバル補助金奨学生です。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。

先ほどの平和フェローシップとは異なり、グローバル補助金奨学金の申請には、実務経験は不要ですが、海外の大学院に入学が決まっていることが条件となります。返済不要の奨学金プログラムですので、こちらも候補者がいましたら、是非推薦をお願いいたします。今年度の募集は締め切りでしたが、次の応募期間は2023年7月1日から10月31日で、2024年秋入学以降の方が対象となります。

最後にロータリーカードの紹介をさせていただきます。いくつかの種類があり、いずれも、カードの種類に応じて、利用額の0.3%または0.5%が自動的にポリオ根絶の支援金となります。本日は、特に入会金、年会費無料のダイナースクラブのクラブカードをご紹介します。

「例会会場費」や「食事代」等の支払いだけでなく、「人頭分担金」の支払や、「財団への寄付」にも

使って頂けます。一宮中央さんはまだお作り頂いていないようですので、是非秋田会長、ご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

いろいろと駆け足でお話してまいりましたが、これからもロータリー財団を是非ご活用ください。そして、財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、ご興味をもっていただき、引き続きご寄付頂きます様、何卒、宜しくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

第5回理事会報告

報告事項

①ニコボックス残高 554,000円

②ロータリーレート 1ドル 148円（前月末145円）

③第2回西尾張分区分会・幹事会

2022年11月25日（金）

17:30～会議 18:00～懇親会 魚辻

秋田会長・宮田幹事（登）10,000円×2名

④第12期2760地区RLI会長エレクト研修

2022年11月27日（日）9:30～研修 17:00～懇親会

内田エレクト（登）19,000円

⑤米山奨学生学友合同忘年会

2022年12月10日（土）17:30～20:00

ホテルメルパルク名古屋

大森米山奨学委員長（登）10,000円

⑥第31回地区RYLAセミナー

2023年3月12日（日）13:00～17:30 オンライン開講

2023年3月25日（土）9:30～3月26日（日）16:00

豊田総合野外センター

青少年交換学生ポリン・ブユアデ（登）20,000円

審議事項

①西尾張分区分会ゴルフ競技会（10/18）の決算に関する件

②第1481回例会（10/29創立32周年記念例会）の決算に関する件

③第1488回例会（1/12一宮4RC合同新春例会）に関する件

④第1490回例会（1/25ゆったり例会）の予算に関する件

⑤西尾張分区分会IM（2/18）の予算に関する件

⑥クリスマス家族会への招待者に関する件

【全て承認】

※議事録閲覧希望の方は事務局までお申し付け下さい



2022. 11. 13（日）地区大会（愛知県国際展示場）

2022年11月23日（水）休会 勤労感謝の日

次回 2022年11月30日（水）の例会予定

卓話

「環境と新電力」

一宮市環境部環境政策課

課長 平松 久弥様